

年間予定 平成28(2016)年度

詳細は、当館ウェブサイト、チラシ、市民しんぶんなどで順次お知らせします。

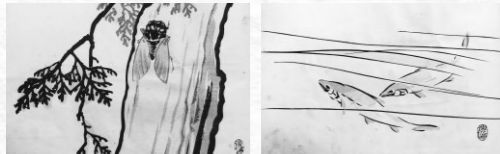
学校歴史博物館 検索

展示

催し ※参加申込が必要です。

企画展 3月31日(木)-4月19日(火)
番組小学校の軌跡 -下京三番組・明倫小学校のあゆみ-

企画展 4月23日(土)-6月28日(火)
日本画 初めの一步 -教科書にみる明治美術教育-



竹内栖鳳著「小学日本画帖」部分 明治34(1901)年
竹内栖鳳著「小学日本画帖」部分2 明治34(1901)年

企画展 7月2日(土)-9月25日(日)
男女共学化の時代 -戦後京都の公立高・女子高・男子高-

発表会 9月29日(木)-10月3日(月)
日本画教室 作品発表会

企画展 10月7日(金)-12月13日(火)
描かれた「むかしむかし」-教材としての昔話-(仮)

企画展 12月17日(土)-平成28年3月14日(火)
工業学校・商業学校のあゆみ(仮)

子ども体験教室(小学生対象)

夏休み!子ども体験教室
明治の小学校 書写教室
博物館たんけんたい
おもちゃの手作り教室
にほん画に挑戦!

冬休み!親子体験教室
親子で凧づくりに挑戦!(仮)
※小学生と保護者対象

春休み!子ども体験教室
詳細未定 ※日時・詳細はHPにて随時更新

企画展関連講演会

心学講舎・明倫舎から、明倫小学校へ
平成28年4月10日(日)午後2時-3時30分
講師: 高野 秀晴氏(仁愛大学准教授)

番組はいかにして「学区」になったのか -学区制度の成立史-
平成28年4月17日(日)午後2時-3時30分
講師: 和崎 光太郎(当館学芸員)

※その他各企画展のテーマに沿った講演会を開催予定

教室・講座(一般対象)

第3[火]午後2時-3時(8月を除く)
上村淳之館長談話室

[月]午後2時-4時
唱歌・童話教室

[火]午前10時-12時30分
日本画教室(火曜・午前)

[火]午後2時-4時30分
日本画教室(火曜・午後)

[木]午後2時-4時
初級者のための合唱教室

[金]午前10時-11時30分
古文書を読む
※年3回開講(9月・11月・2月)

[金]午後2時-4時
描いてみよう!日本画

2月頃開催予定
日本刺繍教室

京都市学校歴史博物館

〒600-8044
京都市下京区御幸町通仏光寺下る橘町437
TEL:075-344-1305 FAX:075-344-1327
http://kyo-gakurehaku.jp/
✉ rekihaku-jigyuu@edu.city.kyoto.jp

当館は、京都の学校の歴史に関する資料の保存・研究・展示をすすめる博物館です。正門・石塀は、国登録有形文化財。



開館時間 午前9時 - 午後5時(入館は4時30分まで)

休館日 水曜日(祝日の場合は翌平日), 12月28日 - 1月4日

入館料 一般200円(160円), 小・中・高生100円(80円)
※()内は20名以上の団体料金
※京都市内の小・中学生は土・日曜日の入館無料

交通案内
◆ 阪急電車「河原町」下車 徒歩約10分 10番出口より南西へ
◆ 地下鉄烏丸線「四条」下車 徒歩約12分 5番出口より東へ
◆ 京阪電車「祇園四条」下車 徒歩約15分 3番出口より南西へ
◆ 市バス「四条河原町」下車 徒歩約10分 南西へ
◆ 市バス「河原町松原」下車 徒歩約5分 北西へ
※駐車場はございません。公共交通機関をご利用ください。



Vol. 31

発行:平成28年3月
京都市学校歴史博物館



京都市学校歴史博物館だより

学歴博しんぶん

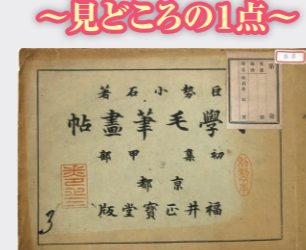
春の企画展 日本画 初めの一步 -教科書にみる明治美術教育-

平成28(2016)年4月23日(土) - 6月28日(火) ◆前期:4月23日(土) - 5月24日(火) ◆後期:5月26日(木) - 6月28日(火)

明治時代には、どのような図画教育が行われていたのでしょうか。本展では特に京都で重要視された「日本画の教育」に注目し、明治時代の教科書や生徒作品、画家の作品を展示・紹介します。



森川曾文著「小学日本画初歩」
明治26(1893)年 学校歴史博物館蔵



巨勢小石著「小学毛筆画帖 初集甲部」表紙
明治21(1888)年 元教養小学校蔵



《小学教科双六》部分(図画授業)
明治40(1907)年



巨勢小石著「小学毛筆画帖 初集甲部」部分
明治21(1888)年 元教養小学校蔵

『小学毛筆画帖』 巨勢小石著 福井正宝堂発行 明治21(1888)年
今から100年以上前、明治時代に京都で出版された図画の教科書です。明治の小学生はこの教科書を手本として近くに置き、慎重に写すことによって運筆を学んでいました。毛筆と墨を用いて描く、日本古来の絵画においてその基礎となるのが運筆の技術です。微妙な力加減によって線を太くしたり細くしたり、勢いをつけたり弱めたり、そのコントロールを身につけることで、固い、柔らかいといった描く対象の性質まで墨線で表すことを目指しました。文明開化のこの時期、西洋画の勢いもあり、日本画は衰退へ向かっていました。京都の日本画家たちは何とか日本画を後世に伝えようとしていました。日本画を学べば、染織や陶芸の下絵や図案を描く職工を育てることもつながる、そうした主張をもとに小学校以上の普通教育に日本画を取り入れさせようとしたのです。そうした努力もあり、明治20年代には京都の小学校で日本画を教えるようになりましたが、いざ授業となると、教師たちはどうやって日本画を教えるよいか悩んでしまいます。そこで、有名な画家に手本となる教科書を書いてもらうことになったのです。そのなかでも、明治21(1888)年に出版された本作は、のちに多く出される日本画教科書の嚆矢となりました。この教科書執筆を依頼されたのは画家の巨勢小石で、平安時代から続くといわれる巨勢家の子孫とされた人物でした。子どもたちは教科書を通じて、京都文化の長い歴史に触れることができたのです。

夏の企画展 男女共学化の時代 -戦後京都の公立高・女子高・男子高-

平成28(2016)年7月2日(土) - 9月25日(日)

公立高校の男女共学化は、第二次大戦後、GHQの意向が強く反映された教育改革によってなされました。この改革は、GHQの管理が厳格だった京都では昭和23(1948)年10月に小学区制(地域制)・総合制と同時に実施、徹底されました。ゆえに、京都では公立高校の男女共学が「あたりまえ」だと思われています。しかし、北関東や東北、九州などでは戦後の同じ時期に公立の女子高・男子高が誕生し、そのうちいくつかの高校は現在でも男女別学のままです。また、京都は戦前から私立の中等教育学校が多く、戦後それらの学校が女子高・男子高となり、男女別学のニーズに応え続けたことも、公立高校の男女共学化を徹底・維持できた要因だと言われています。本展では、昭和20年代から40年代にかけての京都市・乙訓地域の高等学校において男女共学化が実施され、受け止められてきた過程に関連する写真や資料を、私立の女子高・男子高も含め展示することで、京都における男女共学化の時代の全体像を描き出します。

<資料提供のお願い>
当企画展開催にあたり、当館では男女共学化に関する、京都市・乙訓地域の高等学校(昭和40年代まで)の史料を収集しております。お心当たりがございましたら、ぜひご一報くださいませ。 京都市学校歴史博物館 事業課 TEL: 075-344-1305

<京都新聞連載(平成26年10月-平成28年3月)>
「学びやタイムスリップ」が本になります!!

和崎 光太郎・森 光彦当館両学芸員による、京都新聞(市民版)連載「学びやタイムスリップ」。皆様の熱いご要望にお応えしてついに書籍化が決定いたしました。発売は平成28年秋頃を予定しております。お楽しみに!





秋篠宮妃殿下並びに眞子内親王殿下がお成りになりました

平成28年2月27日土曜日、秋篠宮妃殿下並びに眞子内親王殿下が当館をご視察になりました。門川大作京都市長、在田正秀京都市教育長、上村淳之学校歴史博物館長、薮下清二開智自治連合会長と、グラウンドに多数お集まりいただいた地元開智学区の皆様でお出迎えいたしました。

館内では、当館の和崎光太郎学芸員が開催中の企画展「京都における特別支援教育のあゆみ」と常設展をご案内いたしました。企画展では、特別支援教育の歴史や教育に関わった人々の教育理念と情熱に深くご関心を示されました。常設展では、番組小学校の創設と運営に関する史料や、学校に大切に遺されてきた教科書、美術品など、地域住民とともに歩んできた京都の教育の歴史を紹介する様々な展示にご興味をお示しいただきました。教科書の部屋では複製教科書をめくらながら熱心にご覧いただきました。

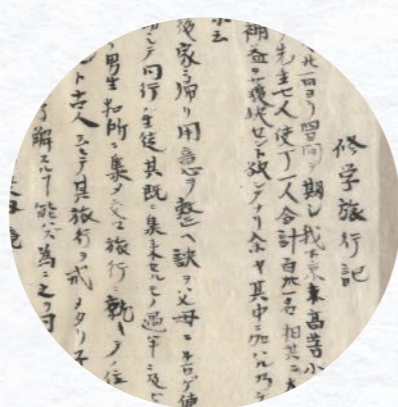
お見送りの際には、グラウンドにお集まりの地元の皆様一人一人に、お声掛けくださる場面もありました。17年の当館の歴史において、とても喜ばしい1ページとなりました。心から御礼申し上げます。



このたび常設展に貴重な史料が加わりました

「三つ重ね純金製金杯」「明治二五年 下京高等小学校 修学旅行記」、戦時中の教育コーナー

当館常設展示に、新しい史料が登場しました。1つ目は、三つ重ね純金製金杯です。この金杯は、日彰尋常小学校(現高倉小)の明治37(1904)年に落成式が行われた校舎の建築費として、学区住民が1万6674円寄付したことを賞し、賞勲局から下賜されました。昨年11月に日彰自治連合会より寄託を受け、さっそく展示を開始しました。2つ目は、修学旅行記です。この旅行記は、下京高等小学校(現在の小学5年~中学2年くらい)の生徒が明治25(1892)年に記したもので、個人の方から寄贈いただきました。当館紀要(下記参照)と合せて、ご覧ください。他に、戦時中の教育コーナーを、大幅に充実させました。昨年の企画展「戦争と学校-戦後70年をむかえて-」で展示した防空頭巾や絵日記、児童作品などをご覧いただけます。



「下京高等小学校 修学旅行記」については、京都市学校歴史博物館研究紀要第4号に詳しく掲載しているよ！学歴博ホームページへGO!!



学歴博の教室紹介

当館で開催中の教室をご紹介します。たくさんの皆様のご参加をお待ちしております！



唱歌・童謡教室

この教室では、大正時代の足踏みオルガンやピアノを伴奏に懐かしい「童謡・唱歌」を、たっぷり歌います。春・初夏・夏・秋・冬・早春と年に6回開催しており、その季節の歌を日本と外国の楽曲から幅広く採用しています。講師の中谷幸治先生の歌唱指導は、丁寧で親しみやすい解説と時々飛び出す「自然体」のボケ・ツッコミ、そして洗練された素晴らしい歌声に人気があり、伴奏の山口敦子先生が奏でる美しい演奏も好評で、受講者の高い支持を集めています。子どもの頃に学校で習った唱歌や、ラジオやテレビで覚えた懐かしい童謡等々を、大勢の仲間と一緒にお腹から声を出して歌うと、気持ちも明るくなって元気が湧いてきます。『唱歌・童謡教室』で心豊かなひと時をご一緒に…。

【担当:萩原】



古文書を読む

歴史学者・京都造形芸術大学教授の五島邦治先生をお迎えし、京都の歴史を古文書で読み解く本講座。初開講の平成15年度からもう10年以上も続く、当館の大人気講座です。五島先生が選んでくださる教材は、毎回どれも興味深いものばかり。前回の教材は、上賀茂神社に伝わる「社家日並記」。取り上げられた内容はというと、現在の柘野開発に関するもの、もう一つはなんと「上賀茂山の松茸泥棒事件」！とても興味を惹かれます。時にはユーモアを交えながら、読み方からその時代背景までをとても詳しく丁寧に解説して下さる五島先生のこの講座は、初心者の方にも非常に分かりやすいと大好評です。「古文書なんて難しそう…」とためらわれている皆様、ぜひ当館でその一歩を踏み出してみませんか？

【担当:土井】



描いてみよう! 日本画

初心者のための日本画教室では、鉛筆や水彩による写生を中心にして、そして岩絵具など日本画の画材に挑戦します。講師の橋田純先生による「描いてみることでいろんな発見をしていただきたい。」と実践に重点を置いた教室です。はじめて日本画を描く受講生は、先生の丁寧な指導のもと、毎回の課題に緊張感をもって熱心に取り組んでいます。同じモチーフを描いても、各々の見方や感じ方によって全く違った絵になるので個別指導にもなります。まずはモチーフを写生することで、ものをじっくり観察することを学び、岩絵具という格調高く華やかな画材を使って、奈良時代から文化のある日本画を描く楽しさを感じてみましょう。

【担当:山内】



初級者のための合唱教室

この教室は、これまで「合唱」を経験した事が無くても、「歌うことが好き」な方ならどなたでも参加できます。音楽や発声の基礎を楽しみながら身につけ、1年間(来春3月まで)活動します。濃厚でユーモアに満ちた中谷幸治先生は、緊張して歌っている時でも、思わず吹き出してしまおうような、おもしろい事を言われ、教室の雰囲気は、いつも温かく和やかです。伴奏の柿木朋子先生の演奏は、喜怒哀楽を見事に表現されるので、本当に素晴らしく、先生方のご指導で合唱できるひとは、至福の時間です。3月下旬に開催される「春の合唱(混声)発表会」では、日頃の成果を本校講堂で皆様に聴いていただくことが、大きな目標になっています。混声合唱教室ですので、男性の皆様もぜひ、ご参加ください。一緒に楽しく歌いましょう!

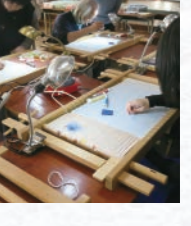
【担当:萩原】



日本刺繍教室

日本刺繍は京都では京繡と呼ばれ、燃りのかかっていない細い絹糸の束を用い、右手と左手の両方を使って縫っていきます。初めは慣れない縫い方に苦戦していた参加者の皆さんも、京都刺繍協同組合のユニークな先生方による分かりやすいご指導のお陰で、素敵な作品が仕上がりました。美しい絹糸を見ているだけでうっとり、どれを使おうか考えてわくわく、日常を忘れて京繡の世界に入り込み、そして仕上がった時の達成感。次はどんな図柄にしようかと楽しみが広がります。次はあなたも、京繡の世界へ!

【担当:小澤】



「こんにちは、市民学芸員です」

市民学芸員の「日誌」から、ある日の館内の様子をご紹介します。日誌では、市民学芸員の皆さんがその日に気づかれたことをご自由に書いていただき、当館スタッフとやり取りしています。

◆2/28(日)

現役小学校の先生、3年生の「昔の学校」の授業の準備のため来館されたとのこと。教科書の展示等、すぐ参考になったと喜んでおられました。地元にもこのような施設があれば良いのに、とおっしゃっていました。

【市民学芸員!】



ここは京都の教育の伝統と、学校の運営と創設に力を注いだ町衆の情熱を全国に発信するために、京都市の学校に遺された歴史資料や美術工芸品を展示する全国唯一の博物館なんだよ。ぜひ一度来てみてね!

学歴博は歴代最多入館者数を2年連続で更新中!これもひとえに皆様のおかげです!!



歓迎!団体観覧

お客さまの人数・目的・学年などのニーズに合わせて、オリジナルの団体観覧メニューをご提案します。



学歴博には【英語版】解説書もあるんだよ!

